



## 田端の王様「芥川龍之介」

『鼻』という作品が、文豪である夏目漱石に絶賛され、芥川は華々しい文壇デビューを飾りました。たぐいまれな才気と下町人特有の世話好きな性格は多くの人々を引きつけ、田端文士村の中心的人物として大きな役割を果たしました。

### 「芥川龍之介」の書齋

番組で紹介する芥川龍之介の肖像写真は、田端の自宅の書齋にて撮影されたものです。芥川はその書齋にこもって執筆に専念し、多くの作品を発表しました。芥川は書齋のことを「我鬼窟<sup>がきく</sup>」と称していました。「我鬼」は彼の俳号でもあります。）

### スイーツ男子「芥川龍之介」

芥川龍之介は無類のスイーツ好きとしても有名です。亀戸（現東京都江東区）や浅草（同台東区）には、『本所両国』や随筆『しるこ』に登場したくず餅やおしるこをとり扱う店が今も残っています。

ぜひ、芥川が愛した下町のスイーツ巡りをしてみてはいかがでしょうか？ 芥川を身近な存在に感じられるかもしれません。

### まとめ

偉大な文豪も私たちと同じ一人の人間です。家族のことを大切に思ったり、甘いものが好きだったり、悩みを抱えていたり……。田端文士村の中心人物で、世に多くの作品を発表した「芥川龍之介」の素顔を知ること、文学史が苦手な人も親近感をもってくれたのではないのでしょうか。芥川作品をまずは一冊、手に取ってみましょう。

